

# 竹村先生からの栽培アドバイス ～「『マイ畑』体験シート」より～



## 〈体験を通しての感想〉



栽培した時期（8月中下旬）の天候が悪かったのか、栽培管理が悪かったのか、ひよろひよろとした豆苗に育ちました。また、都合により2日ほど水やりができない日があり、その後、枯れたような症状が出てしまい、栽培を終えました。もう一度、育ててみようと思います。



➤ 植物を枯らす一番の原因は水のやりすぎです。



➤ この栽培でも、水受けの水がまったくなくなり、豆苗が少し萎れ気味になってから下に1cm位水がたまるようにタツプリやるのがポイントです。



➤ 根は生きていますので呼吸をします。空気がないと生きていきません。



# 竹村先生からの栽培アドバイス ～「『マイ畑』体験シート」より～



## 〈体験を通しての感想〉



冷蔵庫や台所で消費されなかった野菜やいもを、プランターや庭に植えて、成長を観察する。埼玉の留守宅の庭には、ねぎ、やまいも、みょうが、こんにゃくいもなどが、もう何年も棲息しています。うちの子供たちが小学生の頃夏休みの自由研究におすすめしたけど、関心を示しませんでした。今は帰ってきたときに、時々ねぎを収穫してラーメンの薬味に使っているようです。

この庭備蓄は、季節が合わないときには収穫できませんが、食べたい分だけ収穫すればいいので、ロスは少ないです。こんにゃくは、20年くらい棲息させていますが、いまだに掘り起こして生ずりこんにゃくを作ろうというきっかけがありません。飢饉になって食べるものに本当に困るときまで、備蓄しておこうと思っています。



- 「庭備蓄」という言葉とても気に入りました。野菜も捨てる所はないと思います。生きていたわけですので色々なやり方で再利用ができると思います。



- 勿論、今回の様に庭やプランターで生かしていくものもあるでしょうし、料理の部分で捨てないように工夫も出来るでしょうし、ぼかし肥料としても再利用できると思います。



- この様な取り組みを多くの方にやってほしいです。私もペットボトル鉢栽培でネギとパセリを再利用で育てています。この様な野菜は、量は少なくてもいいので、すぐ調理場（お勝手）で育てられるようにして、切っては、又生えてくるのを楽しんでいます。いずれにしても、すぐとれる身近な場所での栽培がポイントだと思っています。今後も、地球温暖化で異常気象が起こってきそうです。自分で自給できるものはしておきたいですね。





# 竹村先生からの栽培アドバイス ～「『マイ畑』体験シート」より～



豆苗は、発芽するときにタッパー**底面給水**で水を与えるので、実は、その後は、水をやらなくてもしっかり育つと思います。



命が誕生する瞬間



発芽したばかりの植物には、これから大きく育っていくように**栄養やパワー**が沢山あります。また、この時期に**しかない栄養素**も見つけられています。



生きているように感じられない種から、あの力強い豆苗が育つとは考えられないでしょう。本当は、花を咲かせ種を取って育てると**命の連続性**が分かり、自分の命は自分だけのものではないことも理解できると思うのですが。



植物は、当初は種の中にある**栄養**だけで成長することが出来ます。ある程度大きくなると自分で**光合成**によって**養分**を作り、最後に種の中にその**栄養**を入れて、**次の世代に引き継いでいく**のです。従って、豆苗は種も大きく、**栄養**が沢山備えられているので、**水**だけでもりっばに成長します。

